

第2510地区 第11グループ



2007~2008

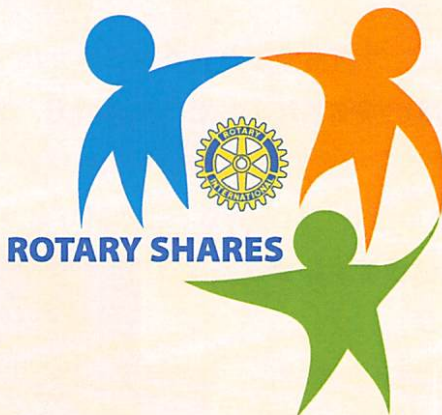
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2007~08年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは
分かちあいの心



2007~08年度
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

Willy Wilkinson

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



3月26日 早朝例会

《第2147回例会》 第37号 4月2日(水)

本日のプログラム

出前講座「函館空港の整備について」

函館開発建設部 第3工事課長 川村 求氏
築港課長 中内 勲氏

★会長 石橋輝夫

★幹事 渡部二康

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870



全日本不動産協会会員 北海道知事免許 渡島(2)第902号

建築業許可北海道知事(般)渡3434号

新しい価値を創造する

ヒーローマンション

日商興産株式会社

〒041-0852 北海道函館市鍛冶2丁目1番3号

TEL 0138-56-6600 FAX 0138-56-2310

マンション事業部直通 TEL 0138-56-3361

ホームページ <http://www.nisshokousan.com/> メール info@nisshokousan.com

(広告掲載：山下 清司 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎ 3月12日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	21名	当日欠席	9名
他クラブ出席	7名	出席合計	28名
出席率	93.33%		

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・4月9日
プログラム

**「地区協議会の報告と和歌山城南RC
創立20周年記念式典出席の報告」**

次年度会長 山下 清司 会員
友好クラブ委員長 柴崎 晃 会員

3月26日の記録

◎司 会 石橋 輝夫 会長

◎齊 唱 手に手つないで、四つのテスト

◎会長報告 石橋 輝夫 会長

○ 3月22日(土) 10、11グループのIMが開催されました。出席の方、ありがとうございました。

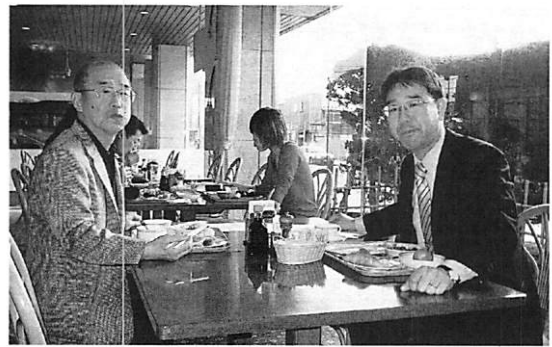
◎幹事報告 渡部 二康 幹事

○ 4月4日(金) 函館五稜郭RC自主休会です。

◎親睦活動委員会 泉 彰 委員長

ニコニコBOX投入報告

ニコニコBOXは実施しませんでした。



※例会終了後、1Fアゼリアにて朝食、解散。

◎インターシティ・ミーティング(IM)参加報告 渡部 二康 幹事

と き：平成20年3月22日(土) 午後3時～5時

と ころ：ホテルオークランド

参加会員：石橋会長、渡部幹事、山下(清)エレクト、成田副幹事、弗田会員、小川会員、高橋会員、泉 会員、深瀬会員、薮下会員、松見会員、計11名

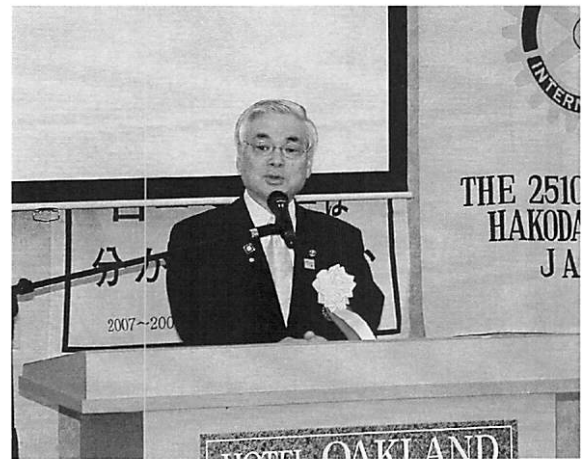
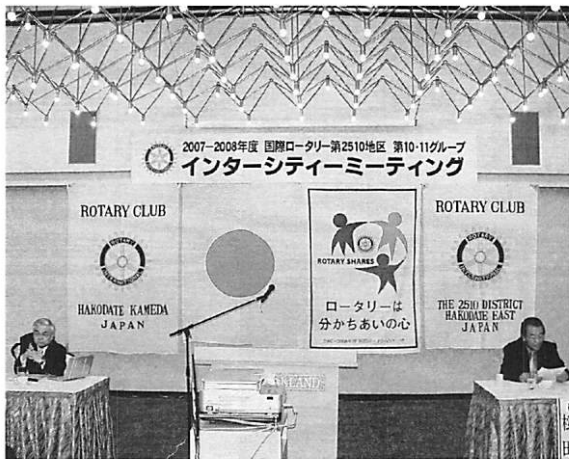
今年度のIMは「入会3年未満の新入会員を中心とした勉強会」という趣旨のもと、午後3時からコーヒーとケーキのみの「お金をかけない」形で開催されました。

開会の後、酒井ガバナーからの基調講演が「ロータリーに求めるもの、ロータリーが求められるもの」というタイトルであり、新入会員ではなくても「なるほど、そうだったのか」と思うようなお話を、スライドを使いながら分かりやすく話してくださいました。その中で私が特に印象に残っているのが、「汗をかいてください」という言葉でした。これは、入会間もない会員が「ロータリーに入ったけれど、何もいいことない。何もおもしろくない」といって退会してしまう事に対してのお言葉でした。「ロータリーの活動で汗を流してください。その汗が自分に返ってきます」しかし、「かいた汗以上の成果は絶対にありません。」ロータリアン一人一人が汗をかくことにより、クラブが活性化し、そのクラブの存在意義が高まり、「私たちのクラブはこんなことをしているのですよ」と世間にアピールすれば、ひいては会員増強につながり、さらにクラブが活性化する・・・まさにロータリークラブの理想だと思いました。我がクラブの社会奉仕活動「洞爺丸慰霊碑清掃」や「函館ハーフマラソン給

水補助」も立派な「汗かき活動」であり、胸を張れる活動ではないでしょうか。

「ロータリーで汗をかけ」この言葉によって、日々のロータリークラブでの活動にどのような意味があるのかということに対し私自身悶々とした思いをしておりましたが、少しの光が見えた気がしています。ポリオ撲滅のために自らの命を捧げた日本のロータリアンの話などを聴き、普段の勉強不足を痛感しましたが、とてもためになる貴重なお話でした。(詳しくは後に発刊されるIM報告書に掲載されると思うので、ぜひお読みください)

「知恵のない時(者?)は汗を出せ」という言葉を学生時代に聞きました。私の出身校の初代学長(創立者)の言葉だったような気がします。また、かの松下幸之助は「まず汗を出せ、汗の中から知恵を出せ、それができない者は去れ」と言ったそうです。とにかくスマートな、泥臭くない生き方がもてはやされる日本の昨今ですが、やはり私のような凡人は「汗をかく」以外に、生きながらえる策がないのかと思い、「職業奉仕」や「社会奉仕」を実践し地道に努力していきたいと思えます。



(会報担当者：藤田 正男 委員)